

《競技注意事項》

この大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびにオホーツク中体連大会規定、監督会議の申し合わせ事項により実施する。

1. 招集

- (1) 競技者は、出場種目の招集終了時刻までに本部棟倉庫横の招集掲示板にて、アスリートビブス（ナンバーカード）に○印をつける。棄権の場合は×印をつける。出場種目の時間帯が重なっている場合は、競技者係に多種目同時届を提出すること。その後、スタート地点集合完了時刻及び試技地点完了時刻までにスタート・試技場へ移動し、出発係及び跳躍・投てき審判員に出場する種目・組・レーン（試技順）の点呼（確認）を受ける。混成競技者も同様にスタート・試技場において係から点呼を受ける。点呼を受けた後は、スタート・試技場で待機し、勝手にその場を離れてはならない。移動は係の指示に従う。
- (2) 確認終了時刻は、次の通りとする。

*トラック競技の決勝のみの種目については、競技日程を確認すること。

	ラウンド	予選		決勝
トラック競技	競技開始時刻	1～4組	20分前	15分前
		5～7組	5分前	
フィールド競技	走幅跳	競技開始時刻		30分前
	走高跳・砲丸投	競技開始時刻		30分前
	棒高跳	競技開始時刻		40分前
混成競技	競技開始時刻	トラック15分前 ・ フィールド20分前		

印を付ける時間

- (3) 招集に遅れた者の出場は認めない。
- (4) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るのでアナウンスを聞き漏らさないよう注意すること。
- (5) 各種用紙は、競技者係に備えている。（本部棟内用器具庫）リレーのオーダー用紙は、集合完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- (6) アスリートビブス（ナンバーカード）は縫いつけるか安全ピンで確実に止めること。（跳躍競技については、胸部または背部のいずれかでよい）
- (7) トラック競技の出場者は招集の際、出発係より腰ナンバーカード（シール）を受け、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。3000mの競技については、胸ナンバーを取り付ける。

2. レーン・競技順

- (1) プログラムの記載の上から下へ番号順とする。ただし、四種競技は種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。
- (2) トラック競技の決勝レーン順のみ、番組編成員で公平に抽選し本部棟横に設置した記録掲示板に掲示する。またアナウンスを聞くこと。

3. トラック競技

- (1) タイムにより次のラウンドの出場者を決める際に、同成績者がある場合はTR21.2を適用する。
- (2) 本大会のスタートについては、TR16.5を適用せず、不適切行為を注意とする。但し、不適切行為が繰り返し行われたり、悪質なものはCR18.5ならびにTR7.2を適用する。
- (3) 写真判定のための腰ナンバーカード（シール）を使用するが、リレーの場合は、第4走者のみとする。

4. フィールド競技

- (1) 走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投
- ② 記録については、試技の1本目は計測するが、2本目以降計測ラインに満たない場合は計測しない。
- ③ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cm単位とする。

種別	種 目	開始の高さ	練習	試技開始・バーの上げ方
男子	走高跳	1 m 2 0	1m15-1m30-1m50	1m20～1m50までは5cm上がり、以降3cm上がり
女子	走高跳	1 m 1 0	1m05-1m25-1m40	1m10～1m35までは5cm上がり、以降3cm上がり
男子	棒高跳	1 m 6 0	1m60-2m30-2m80-3m30	1m60～2m20までは20cm上がり、以降10cm上がり

(2) 混成競技

- ① 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
- ② 最終種目は、それまでの成績順により番組編成を行う。(出場人数による)

種別	種 目	開始の高さ	練習	試技開始・バーの上げ方
男子	混成・走高跳	1 m 1 5	1m10-1m25-1m40	1m15～1m45までは5cm上がり，以降3cm上がり
女子	混成・走高跳	1 m 0 5	1m00-1m10-1m25	1m05～1m30までは5cm上がり，以降3cm上がり

(3) 助力

- ① 競技場内での助力は一切禁止とする。コーチングエリアからの助言については該当種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。なお、ビデオカメラや携帯電話、スマートフォン等の機器で撮影した動画等を競技者に見せることはできない。

5. 競技について

- (1) 競技者・監督といえどもその競技に出場する者以外は競技場内に入ることはいない。
- (2) 短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。
- (3) リレー競技のマーカー使用は1箇所とする。使用したマーカーは、そのチームで処理する。
- (4) リレーチームの編成メンバーについては、TR24.10〔国内〕を適用する。
- (5) 棒高跳の競技者は自分の希望する支柱の位置を練習のときに担当審判員に申し出ること。
- (6) 抗議と上訴については、TR8に従い、監督が総務(専門委員長)を通じて行う。

6. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具器具は、棒高跳のポール以外全て主催者が準備したものを使用しなければならない。
- (2) 個人使用のポールは、検定を受けて合格したもののみ使用できる。ポールの検定は棒高跳ピットで跳躍審判員が行う。

7. 練習について

- (1) アップについては、指定された場所以外には使用しないこと。野球場周辺で行ってもよいが、一般の歩行者等に気をつけて行うこと。
- (2) ホームストレート競技の際、バックストレートを使用してもよいが、競技役員やアナウンスの指示に従うこと。
- (3) 投てきの練習については、必ず顧問がついて行うこと。

8. 服装・競技用靴について

- (1) 服装(ユニホーム)
 - ① 競技の服装は清潔であり、かつ競技に適したものとする。
 - ② リレー競技については、同一のものとし、ランニングパンツ又はハーフタイツのどちらかに統一すること。
 - ③ 身だしなみ(髪型、染色、脱色、ピアス等)については各学校で十分に指導すること。(特別な事情がある場合、顧問が説明できること。)
 - ④ アクセサリー(ネックレス等)類は身につけないこと。ハチマキのみとする。
- (2) スパイク・シューズ等
 - ① 競技用靴の靴底及び踵は、11本以内のスパイクを取り付けられる構造とする。11本以内であれば何本でもよい。
 - ② スパイクの長さは9mmを超えてはならない。また走高跳の場合は12mmを超えてはならない。
 - ③ 靴底についてはレース及び試技終了後、規定外でのシューズの使用が確認された場合、失格になることがある。

9. 表彰

- (1) 各種目の8位までの入賞者に賞状を授与する。表彰式については、決勝終了後随時行う。(雨天時は実施しない。)また、優秀選手を男女選出する。ただし競技結果によっては該当しない場合もある。

10. その他

- (1) 選手に事故があった時などは、大会本部に連絡すること。
- (2) 正面スタンド前(本部席前)は通行禁止とする。またホームストレート芝生及び100m走スタート後方にテントを設置しないこと。
- (3) 貴重品については各学校が管理し、盗難にあっても責任は負いかねるので注意すること。

- (4) 選手が携帯電話その他類似の機器を競技場内で所持及び使用することを禁止とする。
- (5) 大会中は、ゴミの持ち帰り、テント跡の清掃を必ず行うこと。
- (6) 開錠は両日とも午前7時30分とする。この時間前に競技場内に入らないこと。

1 1. 新型コロナウイルス感染症予防対策について

- (1) 応援については、各校テント付近で応援すること。スタート付近及びフィニッシュ付近での応援は行わない。
- (2) 声を出しての応援はせず、拍手で応援すること。
- (3) スタート地点及び投てき場に消毒液を設置するので必要に応じて使用してもよい。
- (4) スタート前及びフィニッシュ後に選手の付き添いはしないこと。
- (5) 各校は大会各日ごとにチェックシートを提出すること。また、発熱や体調不良等の場合は会場に来ないこと。
- (6) 大会運営はガイドラインに沿って実施するので、ご理解ご協力をお願いします。